

(第2号様式)

名商工第2125号
令和7年2月26日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立名護商工高等学校
校長 大城 正
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月12日	場所	本校小会議室	出席 状況	4名中3名出席
第2回	日時	令和6年12月13日	場所	本校小会議室	出席 状況	4名中4名出席
第3回	日時	令和7年2月20日	場所	本校小会議室	出席 状況	4名中2名出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①本校の校則の内容についての助言
- ②教職員の働き方改革についての助言
- ③学校教育活動についての助言
- ④各学科の取り組みについての助言
- ⑤学校関係者評価についての助言

3 学校評議員の意見

- ①校則の内容について、特に違和感はない。原則として、学校・保護者・生徒の声を聞きながら柔軟に対応することが望ましい
- ②現在実施している特日課は、業務時間にゆとりを持たせている。このような取り組みを継続して欲しい
- ③勤怠面、特に遅刻の延べ数が前年度に比べ増加している。遅刻の理由等現状把握を行い改善に向け取り組んで欲しい
- ④学科の取り組みを学校HP以外に「学校だより」として定期的に外部に資料を配布するなどの取り組みを検討して欲しい
- ⑤保護者向け学校評価アンケートの回答数を増やすため、Webによる回答方法等を周知するなどの取り組みが必要と考える

4 学校運営に反映した事項

- ①生徒・保護者・職員・学校評議員による校則に関する意見交換会を実施した。今後の校則の運用面の改善につなげていく
- ②働き方改革に関する職員研修を実施することができた。引き続き、個々の職員が業務改善を図りながら働き方改革を推進していく
- ③勤怠の改善に向け、関係部署と連携し対応策を検討していく
- ④学校のホームページに載せる情報を適宜更新し、学科の取り組み等の情報発信を促進していく。また、「学校だより」のは配布については、今後、検討していく
- ⑤デジタル連絡ツールとしてスクリレを活用し、広く学校評価に係る保護者アンケート等の意見を募り、学校の教育活動の改善につなげるようにしていく

5 課題その他

- ・地域とのパイプ役として学校評議員を活用し、学校の課題解決に向けた取り組み